

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の意欲を高める新たな教育課程を編成し、確かな学力及び農業に関する専門性の向上を図る。</p> <p>②生徒の主体的な行動を促し、生徒会活動や農業クラブの活動を充実させる。</p>	<p>①1人1台端末を活用しながら、新しく編成された教育課程を運用・展開し、授業改善を進める。また、カリキュラム実施状況を検証する。</p> <p>②専門科目及び農業クラブ活動でプロジェクト学習法を習得し、課題解決能力の向上を目指す。</p>	<p>①1人1台端末を活用しながら、各教科において目標を明確に提示し、生徒がその目標達成について自ら振り返り、考える授業を展開するために、研修等の工夫を行う。</p> <p>②コロナ禍での状況を考慮した農業クラブ活動を行いながら、各種発表会や研究の成果発表を行うとともに、地域貢献活動への参加を積極的に行う。</p>	<p>①生徒が自ら考え、主体的に取り組む授業を展開することができたか。また、授業力向上のための職員研修を適切な時期に行うことができたか。</p> <p>②コロナ禍において、コロナウイルス感染症対策を講じた工夫を施した活動実績をあげることができたか。</p>					
2	生徒指導・ 支援	<p>①基本的な生活習慣を確立・定着させるとともに、規範意識の醸成を図り、部活動を活性化させ、豊かな人間性、社会性を育む。</p> <p>②インクルーシブ教育の視点にたった生徒一人ひとりの個性や状況に応じた生徒指導、支援体制の充実を図る。</p>	<p>①挨拶の励行やコロナ禍における新たな生活習慣の指導を通して、基本的な生活習慣の確立と自己管理能力の定着を目指す。</p> <p>②インクルーシブ教育の視点にたった生徒一人ひとりの個性や状況に応じた生徒指導、支援体制の充実を目指す。</p>	<p>①コロナ禍における新たな生活習慣の確立と、時間を意識した自己管理能力の定着の両立を目指し登校指導やSHRを活用する。</p> <p>②新たな生徒支援体制で教育相談等に取り組み、SC・SSWと情報共有しながら生徒の現状を把握する。また、えびな支援学校のセンター的機能を活用する等、個々の教育相談の機会と充実を図る。</p>	<p>①健康観察の習慣をつけることができたか。また、登校指導や声掛けを通して生徒の遅刻等の状況が改善されたか。</p> <p>②新たな生徒支援体制を軸にした教育相談における実施状況、生徒情報の共有が機能したか。えびな支援学校との連携活動の実施回数はどうだったか。</p>					

3	進路指導・支援	<p>①体験的学習を重視し、勤労観・職業観を育成し、進路指導の充実を図る。</p> <p>②社会的自立に向けた教育の充実に取り組む。</p>	<p>①引き続きコロナ禍での状況の下、勤労観・職業観を育成するため、従来の方策に感染症防止策を盛り込み活動の継続を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの進路実現に向けた進路説明会・進路別ガイダンスを計画的に行う。</p>	<p>①勤労観・職業観の意識向上を目指し、協力企業へのアプローチや生徒の事前指導を徹底し、コロナ禍でも体験できる体制を構築する。</p> <p>②面談等を通じて生徒一人ひとりの進路希望を把握し、実現に向けたサポートを全職員で実施する。</p>	<p>①コロナウイルス感染症対策を講じた工夫ある活動ができたか。また、農業体験活動やインターンシップ活動等への参加者が増加したか。</p> <p>②個別に丁寧な進路指導を行い、生徒の希望どおりの進路実現が図れたか。進路別説明会が計画どおり実施できたか。</p>				
4	地域等との協働	<p>①学校の教育力（農業）を活かし、地域との協働・連携を一層強化する。</p> <p>②えびな支援学校との連携・交流をとおして、インクルーシブ教育の推進を図り、いのちや人権を尊重する精神を育む。</p>	<p>①産業界との連携を進め、農業教育を活かした本校の活動を地域に発信し、地域との協働活動を推進する。</p> <p>②えびな支援学校との連携・交流を様々な場面でを行い、インクルーシブ教育への理解を深める。</p>	<p>①農業科各学科の学習活動や農業クラブ活動を通じて、地域との連携・協働活動を行う。</p> <p>②えびな支援学校と連携して、農業クラブを中心に動植物との触れ合いを通してインクルーシブ教育を深める活動を展開する。</p>	<p>①地域からの要望を踏まえつつ、コロナウイルス感染症防止策を講じながら地域との連携・協働活動が令和3年度実績を上回ることができたか。</p> <p>②えびな支援学校との連携・交流を通して、参加した生徒の意識が変容したか。</p>				
5	学校管理 学校運営	<p>①学校施設環境を整備し、防災・防犯意識を高め安全教育を充実させる。</p> <p>②事故・不祥事防止の徹底を図り、信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>①継続して学校施設環境（職場環境及び学習環境）の整備と安全教育の充実を図る。</p> <p>②風通しの良い職場づくりを意識し、事故・不祥事防止の徹底を図る。</p>	<p>①安心して快適な職場環境と学習環境を整備する。また、実験や実習において本校の定める農作業器具等の取扱基準を順守する。</p> <p>②テーマを持ちながら事故・不祥事防止研修を実施する。</p>	<p>①校舎や農場における安全・安心な学習環境の整備が行えたか。また、実験や実習での事故防止ができたか。</p> <p>②事故・不祥事防止研修会が計画どおり実施できたか。</p>				